

聞く耳をもとよう。
聞く人になろう。
いどうせいこう

shibukatsunavi
vol.02

渋谷カッツナビ

カンレキ・テイネンを迎える人の
渋谷・地域活動デビューガイド誌

特集

六十にして愛を知る。

始めに「傾聴ボランティア」ありき

2020年に60歳になる1960年生まれの ライフヒストリー

from 1960 to 2020 Life History



時事

1960年 誕生まだ自宅出産が多かった

1960年 60年安保、カラーテレビ放送開始
1961年 四日市ぜんそくが発生
1963年 力道山が赤坂クラブで刺殺される
1964年 東海道新幹線開通、東京オリンピック開催



1970年 10歳自我が出来るようになる

1970年 大阪万博、三島由紀夫刺殺自殺、円谷英二死去、エノケン死去、上野号ハイジャック
1971年 マクドナルド1号店開店、カッパノードル発売
1972年 沖縄返還、あさま山荘事件、パンダ来日
1973年 渋谷バルコ開店、オイルショック、フストラダムの大宣言「ベストセラー」

1974年 14歳入浴形成に大きな影響を与える年

1974年 ルパン三世小野田さん帰国、三菱重工爆発事件、田中角栄辞任、気象庁のアメダス運用開始、コンビニ号セブンイレブン豊洲店オープン
1975年 ニュート流行
1976年 「およげ!たいやきくん」大ヒット
1978年 「スベスベインベーター」
1979年 共通一次試験開始、TOEIC第一回テスト開催
1980年 「ルービックキューブ」ブーム



1982年 22歳社会人になる

1982年 テレホンカード発売、東北新幹線大宮〜盛岡間、上越新幹線大宮〜新潟開業、CD発売
1983年 東京デパートニードランド開業、任天堂ファミコン発売、DCブランドブーム
1984年 アップル1984年CM
1985年 フラサ含意
1986年 男女雇用機会均等法施行
1987年 安田火災がコソコの「ひまわり」を53億円で落札、国鉄民営化「JR」へ
1988年 東京ドーム完成、渋谷駅、昭和天皇崩御、「平成」へ
1989年 手塚治虫死去、松下幸之助死去

1990年 30歳「I Don't trust over Thirty」

1990年 三井銀行と太陽神戸銀行が合併し「太陽神戸三井銀行」(後のさくら銀行、現在は三井住友銀行)が発足
1991年 パブル崩壊、ジュリアナ東京オープン、宮沢りえヘアヌード「Santa Fe」
1992年 尾崎豊死去
1993年 Jリーグ開幕、レインボーブリッジ開通、NTTドコモ携帯電話サービス開始
1994年 ジュリアナ東京閉店
1995年 阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件、Windows 95発売
1997年 東電O.L殺人事件、神戸連続児童殺傷事件
1999年 iモードサービス開始

2000年 40歳(不惑?)

2000年 「IT革命」が新語、流行語大賞の年間大賞を受賞、ユニクロアリス大ヒット
2001年 Suiica導入、アメリカ同時多発テロ9.11
2002年 FIFAワールドカップ・日韓大会開催
2002年 アザランのタマヤ
2003年 地上デジタル放送が東京、大阪、名古屋、スタード、六本木、札幌上
2005年 堀江貴文ライブドア・ニッポン放送買収失敗、「ソノリアンス」が日本企業に浸透
2007年 P.A.S.M.O.導入、Youtube日本版
2008年 iPhone発売、Twitter日本版、Facebook日本版サービス開始、リーマンショック、年越し派遣村

2010年 50歳(昔ながら寿命だった歳に)

2010年 尖閣諸島中国漁船衝突事件、4月6日期の実質GDP対比ベースにて日本は中国に抜かれて世界3位に「Peak」発売
2011年 東日本大震災
2012年 第二次安倍内閣、東京スカイツリー竣工、尖閣諸島国有化
2013年 サイゼリヤ国内1000店舗出店を達成
2016年 年金改革法成立
2019年 新元号「令和」誕生、1960年生まれの新天地誕生

2020年 60歳(ワンレキ?)

カルチャー

● NHK連続テレビ小説開始(61) ● TV「ウルトラマン」放映開始、ピートルズ来日、ジョン・コルトレン来日、スパイダーズ夕陽が泣いているヒット、笑点開始(66) ● リカちゃん人形発売(67) ● 週刊少年ジャンプ創刊(68) ● サザエさんアニメ放映開始、ドリフ8時だよ!全員集合開始、ヘルボトムジーンズ流行(69) ● ロンドンブーツ発売、「アナン」創刊、ピートルズ解散(70) ● 天才バカボンTVアニメ開始、TV「仮面ライダー」開始、レッド・ツェッペリン初来日、NHKヤングミュージックショウ開始(71) ● 「太陽にほえろ」開始(72) ● 「コトウシほろ」開始(73) ● NHK衛星中継「萩尾望都」の一族、映画「日本沈没」(73)



● ショウケイTVドラマ「徳たけの天使」(74) ● コミックマーケット第1回動員数700名(75) ● 雑誌「ポパイ」発行、「スタジオボイス」発行、ピンクレディーデビュー(76) ● セックス・ピストルズ「勝手にしやがれ!!」(77) ● 「ザ・ベスト」放映開始、YMOデビュー、マンガ「るるる」連載開始、サザンオールスターズ「勝手にしやがれ!!」(78) ● ホプ・マリー来日(79) ● 湯村輝彦、糸井重里「情熱のペンギン」はん・へたワマブーム(80) ● テレちびひょうきん族「ベストヒットUSA」開始、寺尾聰「ルビーの指輪」(81)

● タマリ笑っていいとも!開始(82) ● 哲学書「カフカ」構造と力の異例のベストセラーとニコニコ動画、西武百貨店キャッチコピー「おいし生活」の糸井重里をはじめクリエイターブーム、六本木WAVE開店、映画「ワイルドスタイル」のヒット ● ヒップホップカルチャー(83) ● 「金巻」ベストセラー、「金」が第1回流行語大賞を受賞(84) ● USA、アメリカ「フリーカ」ブーム、「ザ・ワールド」、いとうせいこう「業界くん物語」(85) ● 「トップガン」(86) ● マイケル・ジャクソン来日、映画「私をスキーに連れてって」(87)



● ロッキングストーンズ初来日(90) ● トレン・アイトラム全盛「ルヴァーナ」ネバーマインド「グランドジャンク」ワールドミュージックブームWOMAD(91) ● ギャル系雑誌「egg」創刊(92) ● 松田聖子「あなたに逢いたくて」、パソコン通信「あなたに逢いたくて」、パソコン通信「あなたに逢いたくて」、パソコン通信「あなたに逢いたくて」(93) ● 「冬のソナタ」(第1次韓流ブーム)、コミケ動員数初の50万人超(94) ● AKB48誕生(95)



● ユニバサルスタジオジャパンが開園、「千と千尋の神隠し」が興行収入、観客動員数ともに日本映画の歴史最多記録を更新、初メイトカフェ開店(97) ● 養老孟司「バカの壁」、S.M.A.Pのシングル「世界に一つだけの花」大ヒット(98) ● 「冬のソナタ」(第2次韓流ブーム)、コミケ動員数初の50万人超(99) ● AKB48誕生(99)



● もし高校野球の女子マネージャーがドラッグの「マジック」を読んだらベストセラー(10) ● 「妖怪ウォッチ」発売(13) ● 「笑っていいとも」放送終了(14) ● ポプ・テイルンノベル文学賞受賞「ボクは16才」発表、映画「君の名は」(15) ● コジコジ大ヒット(16) ● 安室奈美恵引退発表、ベストアルバムが大ヒット(17) ● 君たちはどう生きるか(18) ● ベストセラー(18)



◎ 写真提供・代々木在住さん

消費文化に育てられ 消費文化に幻滅した世代

この世代が生まれた1960年は、振り返ってみれば戦後15年しか経っていないことに驚かされる。まだ社会には戦争の跡が残っていたはずだが、子どもの頃の記憶はテレビが映し出す楽しいバラエティ番組や歌手(まだアイドルという言葉は無い)、アニメ、ヒーローたちが活躍していたことで占められている。生まれて間もないテレビメディアが創成期特有の破天荒なパワーを持っていた時代に幼少期を過ごし、心の一番深いところで影響を受けてしまった世代なのだ。そして1970年代、中学・高校という多感な時期に入ると、輝いていたマスカルチャーに対抗するように様々なサブカルチャーが生まれ、海外からも輸入され、決定的な影響を受けた。マスカルチャーが元気だったからサブカルチャーも元気だった時代なのである。歌謡曲も聴くけれど、ロックにもはまる。トレンディドラマを見つつ、尖った雑誌の情報に憧れる。どちらにしても、メディアを通じて消費文化とともに育った世代、というのが1960年生まれの本風景になるのだろう。

1980年代に入り、成熟化社会とよばれ、経済成長のスピードは緩まり、「日本社会のオトナ化」が進むはずだったが、そうはならない。1985年プラザ合意を契機とするバブル経済の発生である。ちょうどこの世代が社会人になったころ、コピーライターブームが象徴するように消費文化は衰えるどころか隆盛を極め、企業は多種多様な商品を発売し始めた。DCブランドを着て、BMWに乗り、高級フレンチは当たり前で、クリスマスは彼女と都心のホテルに宿泊。などという特異な経験もしてきた。そして、その消費文化が一瞬にして輝きを失う経験も。若者が車を持たないことに驚きつつも、そりやそりだよね、と深く納得もする。そんな1960年生まれ。消費文化に育てられ、消費文化に幻滅もした世代なのだ。2000年代以降は、スマホ、SNSといったデジタルテクノロジーが生活に入ってきたことが、世代を超えてインパクトを与えてきた。そして日本社会に大きな衝撃を与えた3・11東日本大震災。ここから1960年生まれのボランティア意識も高まりつつある。もう少しで還暦を迎えようとしつつ下の世代に負けじとソーシャルメディアを使いこなし、「社会」へとつながろうとしている。それが現在の1960年生まれなのである。

聞く耳をもとろう。
聞く人になろう。
いざいせいはい

もうじき
六十を迎える
オレたちへ

渋谷で地域ボランティアをはじめましょうって趣旨の冊子の取材だから
一見遠い話なんだけど、この2、3年、「国境なき医師団」っていうと医師と看護
師だけの集団かと思われてるんだけど全然ちがうわけ。たまたま彼らと
会う機会があって話を聞いたならもう知らないことばっかりで。じゃあ僕
が宣伝隊長をやりましょうって申し出たんですよ。

渋谷カッナビ 掲示板

ボランティア求む

A



いろんな活動がカンレキを迎えるあなたの参加を待っています。

渋谷
ボラセン

03-5457-2200

「渋谷カッナビをみた」
とお伝えください

“話す声”を貸してください。「朗読ボランティア けやき」

目の不自由な方々のために、声による情報を提供する活動です。必要とされる方々のニーズに応えるよう音訳の技量向上をめざしています。

★総合ケアコミュニティ「せせらぎ」および「美竹の丘・渋谷」での目の不自由な方々のための朗読ボランティアを募集しています。

社会復帰をカフェでサポート。「みどり工房」

精神科に通院しながら社会復帰を目指す方々が「仕事の練習」をする場所です。コミュニティカフェも運営しています。

★カフェでの仕込みや片付け、工房での自主製品づくりのお手伝いや配達、メンバーのためのお昼ご飯づくりなどのボランティアを募集しています。

ごはんは作るのも好きだから。「えびす・ぱれっとホーム」

知的障がいの人たちの「働く」「暮らす」「遊ぶ」を総合的にサポートしている「NPO法人 ぱれっと」。その「暮らす」場が「えびす・ぱれっとホーム」（渋谷区東2-11-4）です。

★入居者の夕食づくり（主に平日の夜、10食程度の買い出しから調理まで）を手伝ってくださる料理ボランティアを募集しています（月1回でも歓迎）。

現場で磨いたワザがある。「サービスgrant」※ホームページあり

ビジネススキルや専門知識を活かしてNPOや地域活動団体を支援するボランティア「プロボノ」のプロジェクトを企画・運営している団体です。

★専門スキルを持った社会人ボランティアを募集しています（登録のプロボノワーカーたちがチームを組んで様々な団体の活動を支援しています）。

シブヤのミライのチカラに。「渋谷未来デザイン」※ホームページあり

渋谷区が掲げる「ちがいをちからに変える街」という基本構想を実現するために、産官学民連携で設立された組織です。オープンイノベーションで社会的課題の解決策をデザインしています。

★SIW～ソーシャル・イノベーション・ウィーク渋谷など、当団体関連のイベントをサポートしていただくボランティアを募集しています。

様

々な種類のボランティアが世界中から集まってくる。六〇過ぎも多いですよ。ギリシヤの海で難民見つけて船で救い上げてるような人たちの中にもいるし。でも僕のようなタイプにできるのは書くことぐらいだから、実際にどんな活動をしているか伝えることで寄付が集まるというかなと思ってやってるわけ。

若い頃は人助けとかボランティアとはあまり関わることのなかった世代かもしれないけど、自分の意志で人を救いたいと思う気持ちは、われわれの中にもじゅうぶん芽生えているはずだよ。

すでに「フレボランティア」ではある

それはね、311なんです。どう考えても、日本を、われわれを変えたのは。あの年がボランティア元年だもん、やっぱり。阪神淡路のときは、そうか、ボランティアってものがあるんだ、こんな大勢の人たちが集まるんだって思ったぐらいだったけど、二〇一一年三月十一日のあとは、すぐ

わからない。そんなボランティアみたいな段階にある人たちも311を契機にたくさん生まれていったと思う。それが六〇前のこの世代にとつてのボランティア活動の原点みたいなものになっているんじゃないかな。

フレボランティアなオレたちのための受け皿があることは幸せなことだよ。渋谷は羨ましがられるくらいボランティアの受け皿がたくさんある場所になってほしい。渋谷は発信源になりたがるし、なりやすいし、なつてしかるべきイメージがあるじゃない。ひとつ成功例ができることで、同じことが日本全国に広がっていく。その流れを起こすのがいちばん大事。渋谷から全国へ、そして世界へ！ってことだよ。

傾聴によって人は、プライドを取り戻す

いっしょにバンドをやっている星野概念っていう精神科医がいて、前に彼と対談したとき出てきたのが「傾聴」っていう概念だったのね。彼ら精神科医が何をするかって

に駆けつけた人たちが僕の周りにもいて。バンドの連中がトラックにガンガン荷物積んで、しかも非常に危険な状態なのに現地に入って行ったんですよ。奴らは立派だ。ボランティアは素晴らしい。けど、五〇を過ぎたオレには何ができる？

やっぱり少し歳が上だよ。トラックに物を積んでガンガン行くっていう体力にはちよつと足りなくなっている自分というものに何ができる？ 経済的な寄付とか何か書くことで世論に貢献するとかそんなバックアップみたいなことぐらいしかできないじゃん？ もどかしい思いなんだけど、そんな気持ちをもったことも大事だったんだよ。

たぶんボランティアと「フレボランティア」みたいなものがあつて。ボランティアに行ける人たちは素晴らしいし、どんな条件だつて行ける人は行くんだろ。でもボランティアには行けないけれど、自分にもその意志はある。だけど、どういふふうに住生活の中でそれを行動に移せばいいのか

いって傾聴。とにかく熱心に聞いてあげることなんだ。いまの世の中、自己承認欲求だけが肥大化して自分のことをしゃべるばかりで聞いてあげるってことができないじゃない。それで僕も国境なき医師団を見に行くっていう連載の主題をだんだん固めていくことができた。僕が世界の平和をつくることはできないけれども、世界の平和からほれちゃった人ひとりの話はなるべくそこにいられる時間いっぱい聞くことにしようって。

ただ聞くだけなんて、そんなのは何でもないって言われればそれまでなんだけど、その人にとつてはやっぱり傾聴されるっていうことがプライドを取り戻すひとつの糧になっているのはわかるんですよ。キャンプでアンケート用紙を配って足りないのは TENT ですか毛布ですかって回答を求めるよりも、いま夜は何がたいへんですかって、そこにいるシリア難民の人に聞くことが、人間としてすごく大事なことなんだなっていうことがよくわかった。



福島でも、シリアでも、渋谷でも。聞く耳をもとう。聞く人になろう。

いとうせいこう
1961年3月生まれ。作家、クリエイターとして、活字・映像・音楽・舞台など、多方面で活躍。著書に『ノーライフキング』、みうらじゅん氏との共著『見仏記』、星野概念氏との対談集『ラブという薬』など。3.11の体験から生まれた小説『想像ラジオ』は2014年の芥川賞候補に。昨年『国境なき医師団を見に行く』第一弾を出版。30年来、渋谷が活動拠点。

渋谷区の傾聴ボランティア牧明夫さん（⇒ 10 ページ）



去年から月に一回福島に行ってるの。東京新聞の「話を聞きに、福島へ」ってわかりやすいタイトルの連載で、そう、傾聴ボランティアをやってるの。基本的に記事はもう僕は書かないんですよ。僕の言葉はなるべく入れなくていいからっていう方針で。大事なことは、東京にいる人間が聞く耳を持たないなんてことはないよってことを伝えたいわけ。見たことあるような東京のあの人が福島に来ていろんな人の話を聞いてくれるんだって、少なくとも思ってたほしい。そのためのそれは連載なのよ。

やっぱり自分のことはわかりしやべってきたような世代でしょ、われわれは。わーわー言つてさ、新しいコンセプトがなんだと言つてさ。もうそろそろ人の話も聞いたほうがいいよ。みづらじゅんが言ってるもん、「愛される老人にならないとダメ。介護してもらえなくなっちゃったら」(笑)自分のことばかりしやべってる愛されない老人は介護に人が来てくれないよ。人

の言つてことをよく聞いてくれるいいおじちゃんだったら話に来るもん若い奴らも。傾聴ボランティアっていうけど、それがあらゆるボランティアの入り口。まさに傾聴ということがブレボランティアなのかもしれないね。この「ボランティア求む」(4P)の中には出てこないけど、よく考えたら、もうすでにやっていることだったりするよね。そういうことに関わりたいと、みんなどこかで思ってるよね。

決して難しいことじゃない。いろんな人がやれること。それが相手の気持ちを癒すんだつたらこんなスゴイことはないですよ。「九〇歳ヒアリング」(15P)っていうのをやってるんですね？ これもいいよねえ。渋谷が傾聴ボランティアの発信源になれたら素晴らしいじゃない。

まさしく傾聴。出てくるのを待っている。しばらく聞いてると、ほんと出てくるもんね。福島でもシリアでも渋谷でも。ずーっと待って、聞いているよ。

(二〇一八年十一月十三日)

六十にして 愛を知る。

特集



- 01 最初に「傾聴ボランティア」ありき P10
- 02 日本赤十字社医療センター「院内ボランティア」 P12
- 03 発達障害者のための就労支援「GFTD WORKS」 P16

ボランティアに関する
問い合わせは何でも!

**しづや
ボラセン**

03-5457-2200

「渋カツナビをみた」
とお伝えください

- 2020年に60歳になる
1960年生まれのライフストーリー P2
- 聞く耳をもとう。聞く人になろう。
いとうせいこうさんインタビュー P5
- ボランティア求む～渋カツナビ掲示板 P4、P21



始めに「傾聴ボランティア」ありき

ボランティアのあるところ「傾聴」あり。
ひたすら待つ。相手が心ひらくまで。
なるほど「愛は忍耐強い」のだ。



選層や定年を機に渋谷区民を地域活動に誘う「渋谷カツナビ」。今号の特集テーマは、「六十にして愛を知る」。やがて60を迎えるこの世代が、まだ愛を知らないというつもりはありません。むしろいろいろな愛のかたちを謳歌してきた世代かもしれませんね。でも、地域に出て、ボランティアとして人と会うことで、はじめて知る愛もあるでしょう。そんな素朴な期待から、人のこころと触れ合う愛のボランティアの現場をいくつか紹介します。まずはじめは「傾聴ボランティア」。傾聴は、あらゆるボランティアに求められる大切なスキル。まさにボランティアの入口と言えますが、聖書にある「愛は忍耐強い」を学ばされる、奥の深いボランティアの王道なのです。

あ

らゆるボランティアの窓口になる「渋谷ボラセン」では、様々な講座やセミナーを開催していますが、昨今とくに人気を博すのが「傾聴ボランティア講座」です。同様の講座は日本中の自治体で行われており、「傾聴」は全国的に静かなブームと言っているでしょう。

ブームの直接のきっかけは東北の震災だったかもしれません。以前は「話し相手ボランティア」というカテゴリがありましたが、いとうせいこうさんのお話にあるように被災者の声に耳を傾けることの大切さが認識されるようになるにつれ、地域でも、話し合うより「聞くこと」に特化した「傾聴」にボランティアの比重がシフトしていったのでしょう。

渋谷区の傾聴ボランティア講座は例年3日間のプログラムが組まれていて、今年も秋に実施予定。区内の高齢者施設などで傾聴ボランティアを始めるための知識や心構えを学びます。興味のある方、ボラセンまでお電話をどうぞ。もつともこの講座

を受講しなくても傾聴ボランティアとして活動を始めることはできますので、いずれにせよお電話を。ボラセンでは、傾聴ボランティアをやりたいあなたと、傾聴ボランティアに来てもらいたい施設や個人とのマッチングをしています。

「自分はこれまで人に話をすることはばかりやってきたけれど、人の話を聞くことはあんまりやってこなかった」

退職後の生活について思いめぐらしていたときに、ふとそんな考えが心に浮かんだという牧明夫さん。代々木公園の近くにお住まいの牧さんは、渋谷で活動される傾聴ボランティアの一人です。この3年ほど、お近くの「あやめの苑」に毎週欠かさず足を運ばれています。人の話をゆっくり聞くと、いつかをやってみたいと思っていたときに、たまたま区報で「傾聴ボランティア講座」のことを知り、あつ、これが自分のやりたかったことだ！と小躍りしながら受講されたのが3年前でした。



できるだけ男性のお話を聞くようにしています。女性は気の合った方同士でおしゃべりされていますが、男性は一人で黙っておられる方が多いので。

決して聞き分けのいい受講生ではなかつ

たと笑う牧さんですが、ほどなくボラセンから、デイサービスあやめの苑への出勤、依頼が。自分につとまるか不安でしたが、週に一度でよければという条件で引き受けることに。講座で叩き込んだ「ひたすらじつと待ちなさい」という傾聴の基本を胸に、右も左もわからないまま傾聴ボランティアとしての一歩を踏み出します。ただ黙っていても、お年寄りにはかんとんには心をひらきません。とっかかりはジクソーパズル。「パズルをやりませんか」と声をかけ、いっしょに手を動かしているうちに、お話される方があらわれるようになりました。半年もすると、話すのを心待ちにされている様子が感じ取れるまでになりました。

「みなさん、たいへんな御苦労をされている。それを楽しそつに話されるんですね」
もちろん人の役に立ちたくて始めたボランティアですが、あやめの苑への週に一度の訪問が今ではすっかり生活の中心を占め、牧さんご自身の生き甲斐となりました。

日本赤十字社医療センター 「院内ボランティア」

赤ちゃんから終末期の患者さんまで、
みんなの病院生活をちょっと良くする
院内ボランティア。

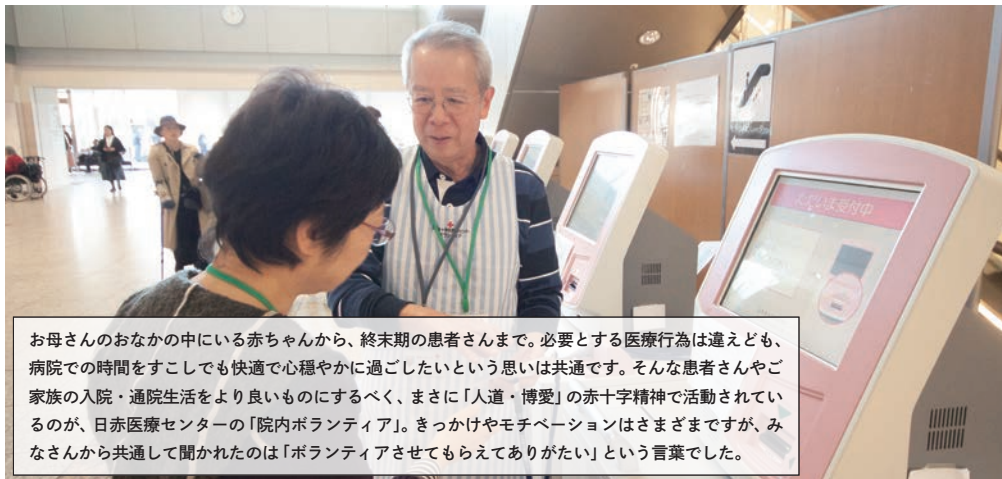


定年後も人と接する 機会がたっぷりたくて

きっかけをこう語るのは、院内ボランテ
ィア3年目の村地成美さんです。65歳で退
職するにあたって、お勤め先の企業が運営
に携わるボランティア団体の紹介で活動
をはじめた村地さん。「定年後まで働きた
くはないけど、人との接点はほしいし、誰
かの役に立ちたい」と、数ある紹介先から
こちらを選んだそう。

村地さんが担当されているのは、外来と
図書室のボランティア。外来では、再来受
付や支払いなどの機械操作のサポートや、
車椅子の方が移動するお手伝いなど、外来
エリアでの困りごとの対応にエプロン姿の
ボランティアが大活躍。患者さんから寄贈
された本などがずらりとならぶ図書室で
は、蔵書の貸出や新着図書の見録作業など
を担っています。

「お手伝いをして人に喜んでもらえること
が嬉しいですね。よその赤ちゃんを抱っこ



お母さんのおなかの中にいる赤ちゃんから、終末期の患者さんまで。必要とする医療行為は違えども、
病院での時間をすこしでも快適で心穏やかに過ごしたいという思いは共通です。そんな患者さんやご
家族の入院・通院生活をより良いものにするべく、まさに「人道・博愛」の赤十字精神で活動されてい
るのが、日赤医療センターの「院内ボランティア」。きっかけやモチベーションはさまざまですが、み
なさんから共通して聞かれたのは「ボランティアさせてもらえてありがたい」という言葉でした。

こは広尾の日本赤十字社医療セン
ター（通称、日赤医療センター）。専

門的ながん診療をはじめ、さまざまな高度
医療を提供する地域医療の中核となる総
合病院です。

診療科数40、病床数700以上を数える
大病院ですが、ここでもボランティアが活
躍しているとのこと。ボランティアのコー
ディネーターやサポートを一手に担う千葉修
一さんの案内で、「院内ボランティア」の活
動現場にお邪魔しました。

院内ボランティアとは？

患者さんが少しでも良い状態で安心し
て医療を受けられるよう、病院を利用する
人々にサービス（医療行為ではない）を提供
すること。これが院内ボランティアの役割
です。お医者さんや看護師さん、その他の
スタッフのみなさんと連携をとりながら、
病院内のさまざまな場所で老若男女40
0名を超える人々が活動しています。

して「かわいいですね」なんて言うことも他
ではないでしょうね」。院内ボランティアの
魅力を語る村地さんの目は、とても穏やか
でした。

エネルギーをもらえる場所

ところ変わって敷地内に併設された附
属乳児院でも、院内ボランティアが活躍し
ています。「お子さんたちはやっぱりかわ
いいですし、どんどん成長していくのを間
近でみるのも楽しくて。一週間会わないと
できることも変わっているんです」と語る
のは、院内ボランティア4年目の荻原靖子
さん。現在は1歳のかいとくん（仮称）の遊
び相手や昼ごはんのお世話などを週に一度
されています。

院内ボランティアをはじめめるまでは、乳
児院の様子も知らなかったという荻
原さん。「最初はどついたらいいか不安も
ありました。だけどやっぱり慣れでしょう
か」ってきつぱり。「お子さんたちからはすこ

くエネルギーをもらっています。こうしてボランティアをさせてもらえるのがありがたいです」とも。

女性ボランティアが多そうないメージの乳児院ですが、「高い高いとか男性ならでは遊び方もありますし、遊び相手になれる男性は貴重です」と心強いエールもいただきました。

楽しくないボランティアなんて

「ボランティアは隙間産業です」。がんによる苦痛をやわらげる緩和ケア病棟で18年にわたって院内ボランティアをされている矢吹陽子さんは語ります。「困っている患者さんやご家族を見かけたら声を掛けてみるとか、気になった細かな汚れをきれいにするとか、ちよつと気づいた隙間を埋めていくのがボランティアだと思っつんです。家の汚れも、他人のほつがよく気がつきますよね。本職である看護師さんや看護助手さんではなく、他人の目、主婦の目がお役



シブカツ
90歳
ヒアリング
プロジェクト

「90歳を傾聴せよ！」in シブカツ

“土地っ子”吉田茂夫さん（93歳）は日赤ボランティアの大先輩でした。



に立てることは多いんです」

緩和ケア病棟での活動は、ベッドのシート交換やマッサージといったものから、花瓶の水換え、食器洗い、患者さんやご家族との会話まで多岐にわたります。こうした活動を続けるうえで「自分なりの楽しみを見つけること」が大切だと矢吹さんは語ります。「楽しくないと続けられません。まずは行ってみて、自分が楽しめそうだと思うところでボランティアするのが一番です」

院内ボランティア 活動開始までのステップ

院内ボランティアとして活動するためのステップはこちら。春と秋の年2回、日本赤十字社医療センターのホームページにお知らせが出るので、そちらもチェック。

- Step1** ボランティア活動申込書を提出
- Step2** ボランティアオリエンテーション(説明会)への参加と個別面談
- Step3** 健康診断の受診(病院負担)とボランティア保険(自己負担)への加入
- Step4** 健康診断の結果とともに活動初日の案内が病院から届く
- Step5** ボランティア活動開始(オリエンテーションの約1ヵ月後)

「渋 カツ丸〇歳ヒアリング」2回目は、大正十四年うまれの吉田茂夫さんに元代々木のご自宅でお会いし、お話を伺いました。

長く渋谷区議をつとめられ、また赤十字奉仕団の活動に尽力された吉田さん。前頁で日赤の院内ボランティアについて紹介しましたが、その赤十字の活動を支えるボランティアの大先輩にこの頁でご登場いただけるのは、有り難い巡り合わせです。

「僕は土地っ子」と語る吉田さん。ペーゴマが得意の方キ大将で「焼いて食べるほど蜻蛉を採った」子どもの頃も、出征したのも復員したのも、焼け落ちた実家の蕎麦屋を建て直すところから戦後の歩みを始めたのも、小田急の笛が聞こえるこの街でした。「人の幸せは自分の幸せ」が口癖。近くの養護施設の世話になるようになった今も、「こんな素晴らしい施設に入れたことは幸せ」と感謝の気持ちをお忘れません。赤十字奉仕団の実績が称えられ表彰を受けたことがいちばんの誇りです。

発達障害者のための就労支援 「GFTD WORKS」

当たり前のことのできないのが発達障害。
日常生活の当たり前のことを指導してくれる
大人の「生活支援員」ボランティア大募集。



GFTD WORKS (ギフトッド・ワークス) 代表の河崎純真さん。ご自身も学生時代にADHDの診断を受けた発達障害者です。中学卒業の頃からエンジニアとして活躍し、現在は名うでの「ホワイトハッカー」として知られる河崎さん。障害者だからという理由で才能を活かせない社会に疑問をもち、きっと特別なギフト(才能)があるにちがいない発達障害の人が、2年かけてプログラミングのスキルを身につけ社会進出できる場を渋谷で立ち上げました。才能はあっても卒業するまでの道のりは決して平坦ではない受講生に愛の手を!



自身がADHDなんですね？

実は母がADHDでアスペルガーなんです。すごくファンキーな人で、家事ができないし空気が読めない。でも絵が得意で主義主張のはっきりしているひと。家事は父や姉が代わりにやっていたけど、うちではそれが当たり前だと思っていたので、社会に出たときに、あっ、この人も発達障害なんだと分かる人がたくさんいたけど、そのことに気づいている人は少なくともとても生き辛そうだなと思えた。

仕事が一段落し、すぐ会社を立ち上げた。

自分にはITしかできないし、発達障害の人にはできることもまずITかなと思ってこの会社を始めてみました。株式会社になっていますけど福祉事業者。発達障害者のための雇用をつくるのが仕事です。

渋谷に開設したのは、もともと渋谷が好きだったことと、この事業をやるのに渋谷以外に考えられなかったから。発達障害者の就労移行支援施設でITを教えることを考えたときに「私は渋谷でやっています」

という響きがいいですから。就職先になるIT関連会社も渋谷に多いですね。応募できるのは発達障害者だけ？

プログラミングは発達障害のほかに適性があるのも確か。応募資格は発達障害の診断を受けていて受給者証があり、就職を目指していること。2年間のプログラムで必要なスキルを身につけ、就職を目指すプログラマー自主養成講座ですが、PCさえ使えれば学歴不問だし最初は何もわからなくて大丈夫。いまも開設当時も20〜30人在籍しています。20代の若い人が中心ですが、50代もいますよ。

60前の人は支援される側にも回る？

下は18歳から上は65歳まで受け入れられます。発達障害は20人に1人の割合で生じると言われていますが、診断を受けている人はわずか。よく「空気が読めない」と言われる人や、僕のように歯を磨くことや約束の時間を守るのが苦手な人は、その可能性があるかもしれないから、心療内科でテストを受けてみたいいいかもしれません。



もしボランティアに来てもらえるなら、プログラミング以外のことを教えてもらいたい。フェルデンクライスというボディワークとか道徳の授業もやったことがあります。「悟りとは何か」なんて発達障害を理解してなくても教えられるでしょう。

健常者でも悟りは難しいと思うけど(笑)

いちばん来てほしいのは、そう、「生活支援員」ですね。生活習慣をフォローしてくれるたり、相談にのってくれる人が欲しい。ただ「きちんとやるつね」と掛け声をかけるだけでは難しいことが多いので、普段の生活の中で寄り添ってくれることが理想。できないことを代わりにやってもらおうとか、できるまで見守ってくれとか、グループで話し合つときに横に座っていてもらうとか。そういう生活支援的な文脈で手伝ってもらえると有り難い。

歯が磨けないというようなケースは？

自分は結婚してから歯を磨くようになりました。嫁がついてくれるから。つまり嫁は僕の生活支援員なんですね(笑)

「わたしの地域デビュー」

神泉町会長 榎村 淳さん



わが神泉町の最寄り駅は京王井の頭線神泉駅です。閑静な住宅地の場所柄からか、私を含め町会役員の多くは元サラリーマンです。長い会社勤めの後、私は定年後に元の会社の顧問の話をもらいましたが、ほぼ、同時期に地域で民生委員という役にも就くことになり、それがきっかけで地域活動の仲間入りをする事となりました。民生委員には定年があり卒業しましたが、地域の町会活動では、いつの間にか町会長になっていました。

さて、神泉町会ではいくつかの特徴的な事業を行っています。まず、地域の人の暮らしに役立つ町会誌「神泉町会だより」を年2回発行し、町会役員が各町会員向けに直接、配っています。

また、近くにある区の地域交流センター大向では地域の町会（全19町会）と協力して落語会などの行事を定期的に開催しています。町会の事業はさまざまありますが、とにかく地域を元気にしたい、という思いを持つことが大切だと思っています。

Let's join a "neighborhood association"!

The association has delights for you.

町会に入りましたよ!

町会の加入などについてお問い合わせはこちらへ

渋谷区町会連合会事務局

☎ 03-3463-1649

Let's join a "neighborhood association"!

The association has delights for you.

町会に入りましたよ!

町会が、あなたのために出来ること。



町会の加入などについてのお問い合わせはこちらへ

渋谷区町会連合会事務局

☎ 03-3463-1649



渋谷カッナビ 掲示板

ボランティア求む



いろんな活動がカンレキを迎えるあなたの参加を待っています。

しぶや
ボラセン
03-5457-2200
「渋谷カッナビをみた」
とお伝えください

1964もってませんか? 「一般社団法人1964 TOKYO VR」※ホームページあり

昔の渋谷の写真を集め、最新のテクノロジーを駆使して、渋谷の過去の街並みを三次元で再現するプロジェクトを推進している団体です。

★押し入れに眠っている1964年当時のアルバム写真を提供いただけるボランティアを募集しています。

ひまわりでおもてなし。「ひまわりガーデン代官山坂実行委員会」

代官山の再開発で生まれた中央分離帯に、ひまわりを植えて緑化するプロジェクトを10年以上継続。2020年の夏には渋谷区中でひまわりを咲かせて「おもてなし」できることを目指す取り組みです。

★花が咲くまでのひまわり花壇の水やり、咲いた後の種取り、種取り後には根を抜いて処理するまでの作業をお手伝いいただけるボランティアを募集しています。

パソコン?経験ありますが。「渋谷パソコン」※ホームページあり

区内の高齢者・障がい者を対象にパソコン学習をとおして交流を図りながら情報格差のない社会を目指す活動に取り組む団体です。

★総合ケアコミュニティ・せせらぎで行っている「せせらぎ平日サロン」(毎月2回木曜日午後)または「せせらぎ土曜サロン」(毎月2回土曜日午後)で、高齢者や障がい者のパソコン学習をお手伝いしていただくボランティアを募集しています。

“聞く耳”を貸してください。「杜の風・上原」※ホームページあり

特別養護老人ホームのショートステイとデイサービスの施設です。

★傾聴ボランティアのほか、植栽管理、車いすの整備、行事・イベントのお手伝い、麻雀・囲碁・将棋など趣味活動のお相手をしていただけるボランティアを募集しています。

おしゃべりで国際貢献。「スペース・アイ」

慣れない暮らしを応援し、交流することで互いの理解を深める小さな国際貢献を目指す活動です。日本文化の体験、会員相互の親睦も企画しています。

★日本で暮らす外国人と「日本語でおしゃべり」するボランティアを募集します(週に1度、2時間程度、外国の方と日本語でおしゃべりしてください。暮らしに必要な日本語を覚え、日本の生活になじんでもらうことが目的で、日本語を教える日本語教室とは異なります)。

さあ、
おとなりさんと
何しよう。



SHIBUYA OTONARI SUNDAY IS
A LOCAL COMMUNITY FESTIVAL
HELD ON THE FIRST SUNDAY IN JUNE

渋谷区からのご提案。6月の第一日曜日を“ふだん話す機会の少ない近隣の人ともっと顔見知りになる日”にしませんか。その名も、渋谷おとなりサンデー。ご近所の人たちと食べ物や飲み物を持ち寄り、お近くのお店どうしてイベントを企画したり、地域の清掃に参加したり。小さきまなな交流を、みんなで同じ日に一斉に行い、渋谷らしく楽しい地域活動のお祭りにしましょう。今年は6月2日。さあ、おとなりさんと何しよう。

渋谷おとなりサンデー
2019年6月2日(日曜日)

shibuya-otonari.jp

「こ」の目印が
目にはいらぬか!?



食堂じゃないよ、
テーブルだよ～
食べるだけじゃない、
子どもといっしょに
地域が成長する機会～
「こどもテーブル」



「お菓子の家づくり」に挑戦した代々木こどもテーブル春の小川の参加者のみなさん (2018.12.1)

テーブルは個性いろいろ

2019年1月現在21ヶ所で実施されている「こどもテーブル」。おおむねどの地区でも月1、2回のペースで開催しています。たとえ同じ会議室テーブルを使うにしても、地区ごとにテーブルの個性は種々様々。食堂タイプのものとしては、公共施設のキッチンを使って行われるテーブルや、老人ホームで世代を越えて囲まれるテーブルもまた教会や企業の社屋、NPOの拠点などでもテーブル活動がおこなわれています。「居場所・学習支援」を目的とするものでは、ひとり親家庭の子どもの向けの学習支援や、不登校児や発達障害書傾向のある子どもたち向けの活動、さらに「2020年の東京オリンピックに向けて英語を学ぶ」という目的のテーブルなどもあります。

晩ごはんプラスα

上原地区の「上富ダイニング」(第三木曜16時～)では、子どもたちはボランティア



こどもテーブル
KODOMO TABLE



笹塚地区「ささはたっこ」



上原地区「上富ダイニング」



初台地区「代々木こどもテーブル春の小川」

またたく間に急拡大し今では全国に二千ヶ所以上が立ち上がっているという「子ども食堂」。その多くが、満足に食べることも難しい貧困の状態にある子どもたちに食事の機会を提供しようという取組みです。でも、渋谷区の「こどもテーブル」はそれとはちょっと趣向がちがいます。…名前もちがいます！

もちろん食べられなくて困っている子どもは助けます。食べる喜びを分かち合うことは大事ですが、決して食べることにこだわる食堂になりたいたいではなく、学んだり遊んだり話したりするために、みんなが自由に囲めるテーブルを目指すもの。いろんな子どもたちが地域のいろんな大人たちといっしょに成長する機会。子どもを主役に、渋谷のひとの、渋谷のひとによる、渋谷のひとのための、地域の教育の場が「こどもテーブル」です。

隣人愛とご近所の底力が発揮された個性ゆたかなテーブルが続々と誕生しています。ぜひ関心をもってください。よかったら力になってください。渋谷の子どもたちと、わたしたち自身の未来のために。

イアの中学生と宿題、もしくは遊んでから、調理のお手伝いもしての晩ごはん。中学生の地域活動がすっかり定着しています。ボランティアのみなさんが、子どもたちから名前でも「おーい！」と呼び合う間柄で過ごす時間はとても楽しそう。初台地区の「代々木こどもテーブル春の小川」(第一火曜16時～)では、ご飯の前に英語の教室が、おばんきょうではないからか、子どもたちも終始「ニコニコ」。そして、ご飯のあと体育室で目を輝かせて遊ぶのは、笹塚地区の「ささはたっこ」(第二金曜17時～)の子どもたち。

めざせ百テーブル！

一度、ホームページ「渋谷区こどもテーブル」をのぞいてください。お近くにはどんなテーブルがあるかおたしかめいただけます。どのテーブルもボランティアの参加をお待ちしていますよ。また助成制度についての説明もあります。あなたが新しいテーブルの発起人になるかもしれませんね！

ちがいを
ちからに
変える街。



渋谷区
Shibuya City

渋谷生涯活躍ネットワーク

シブカツ!

「渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ」が7月にオープン

2019年7月、渋谷ヒカリエ8階に「渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ」をオープンします。

「シブカツ」は、プレシニア世代からアクティブシニア世代をターゲットとした、新たな生きがいを見いだす場です。

ここでは区が実施している事業を始め、様々な社会活動の情報を一元的に集めて、利用者のニーズに合った情報を発信していきます。

また、実際に社会活動を行っている経験者によるセミナー等の開催や、スキルを活かした社会参加の機会を提供するなど、これから働きたいと感じている方を支援する取り組みも行っていきます。

さらに、S-SAP協定を締結している区内8大学や民間企業と連携した渋谷区ならではの新たな学びの場、その名も「渋谷ハチコウ大学」を開校いたします。

ハチコウ大学は区内8校の大学に加え、民間企業やNPO等のハブとなり、今までにない新たな学びを提供します。

また、学生登録制度を導入し、登録された方は、「各大学の特色を活かした講座」や「日常生活に密着し、専門性に特化した企業講座」、「NPO等と連携した自主企画講座」に優先的に参加できるようになります。

大学修了者は、ハチコウ大学独自の学位を取得することができ、その後は、学んだ内容の成果の発表、地域のコミュニティ活動を希望する人が円滑に活動へ参加できる仕組みを構築していきます。

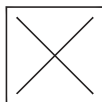
多くの区民の方のセカンドライフが豊かになることを目指して、このシブカツの取り組みを推進していきます。

■問合せ先 (3月まで) 福祉部高齢者福祉課サービス事業係

(4月から) 福祉部生涯活躍推進課生涯活躍推進係

☎03-3463-1211 (代表)

渋谷



ちがいを
ちからに
変える街



平成31年3月15日発行

カンレキ・ティーンを迎える人の
渋谷・地域活動デビューガイド誌

渋谷カツナレ vol.02

発行：渋谷区 区民部地域振興課

TEL：03-3463-1649

©渋谷区 禁無断転載

